



秋には再びビッグタイトルを！

ホエールキャプチャ号ヴィクトリアマイル優勝

5月13日、東京競馬場で開催された「第7回 ヴイクトリアマイル」(GI芝1600m)で(有)千代田牧場生産のホエールキャプチャ号(牝4歳 父クワネ 母グローバルピース)が、GI6度目の挑戦にして初の栄冠を獲得しました。

今レースには、GI5勝という輝かしい実績を持つものの近走はやや精彩を欠き、復活をかけていたアパネ、ホエールキャプチャと同世代の桜花賞馬マルセリーナ、この他にもマイル戦を得意とする実績馬、実力馬が多数出走しており、ハイレベルな混戦となることが想定されていました。

しかし、優勝したホエールキャプチャが、2着馬ドナウブルーにつけた着差は半馬身と決して大きな着差ではありませんでしたが、結果は、レース前の混戦というイメージを払拭する独壇場、正に完勝と呼べるものでした。

6枠12番ゲートから勢いよくスタートを切ったホエールキャプチャは、鞍上横山典弘騎手にやや気合いをつけられながら、少しずつ内側に進路を取り、スタートをして400m地点では既にコースの最も内側を先頭から3番手でしっかりと折り合いレースを進めていました。

そして、第3コーナー、第4コーナーを無駄のないスムーズなコーナーリングで通過し、勝負の最後の直線では、周りの馬たちが必死に気合いをつけられる中、直線半ばまで横山騎手の腕が動くことはなく、あとは馬群を抜けるタイミングを計るだけという絶好の手応え。

その手応え通り、坂を上りきってから気合いをつけられたホエールキャプチャは、グングンと加速し、他馬を全く寄せ付けない圧巻の勝利で見事優勝を飾りました。